

経営比較分析表（令和6年度決算）

山形県 上山市

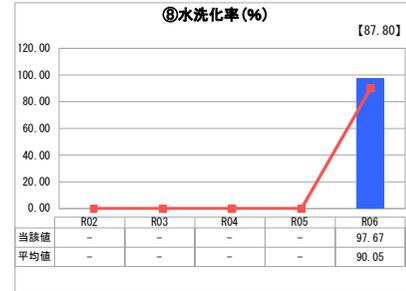
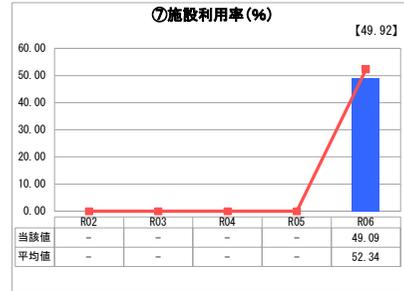
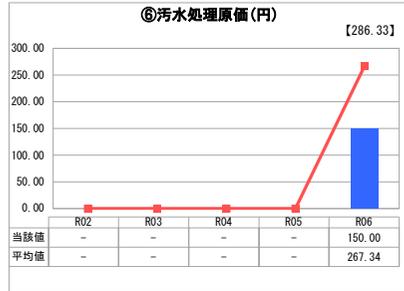
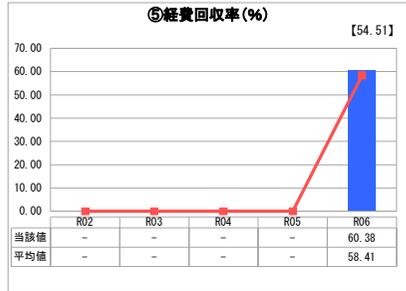
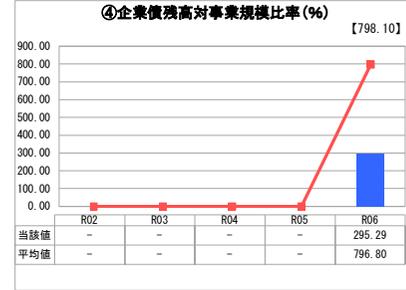
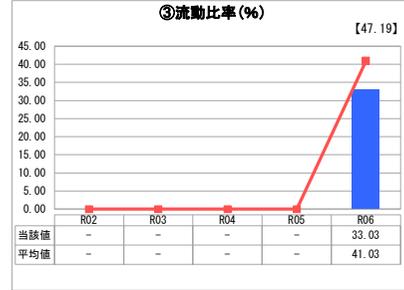
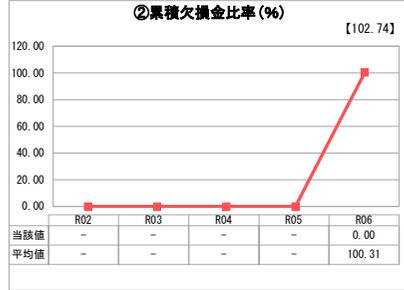
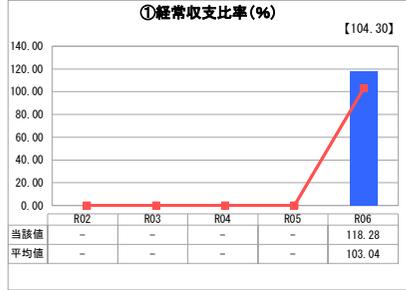
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	58.96	9.29	100.00	2,550

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,584	240.93	114.49
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,537	2.36	1,075.00

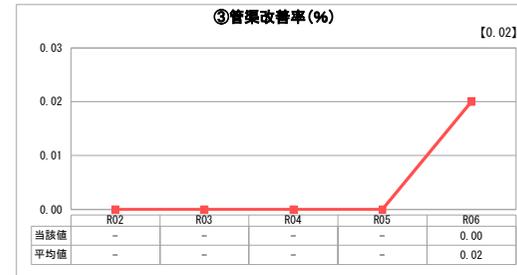
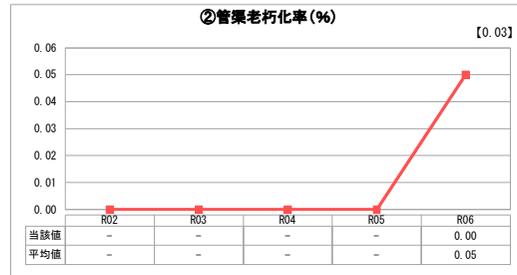
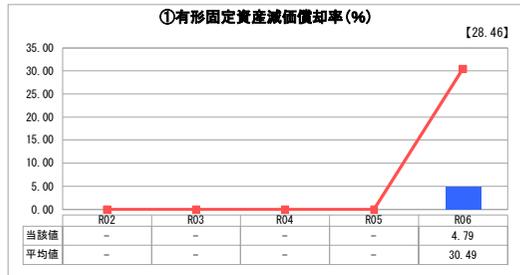
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 近年の収支は安定して推移しており、単年度の採算性は概ね確保されていますが、一般会計からの繰入れに頼らない体制づくりを引き続き検討します。
 ② 累積欠損は生じておらず、財務基盤は維持されています。
 ③ 短期の支払能力は類似団体より低く、引き続き手元資金の確保と資金繰りの改善に努めます。
 ④ 債務残高は整理が進み、類似団体より低位にありますが、今後の長寿命化投資との整合を図りつつ、無理のない起債・償還管理を継続します。
 ⑤ 使用料収入による費用回収は、類似団体より相対的に良好ですが、単独では十分とは言えないため、費用構造の点検とあわせ、必要な範囲での使用料水準の見直しや減免制度の適正化等を総合的に検討します。
 ⑥ 処理費用の水準は類似団体より低めで推移していますが、エネルギー価格や薬品費の変動リスクに備え、運転の最適化、包括委託の見直し、更新時の省エネ機器の導入を通じて一層の効率化を図ります。
 ⑦ 施設利用はおおむね安定する一方、類似団体と比べるとやや低く、需要動向に応じた運転の見直しにより効率性を高めます。
 ⑧ 継続状況は高い水準にあり、未接続世帯の解消に向けた戸別の周知・相談対応を継続します。あわせて、安定したサービス提供と中長期的財政健全化の両立を図ります。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は類似団体より低い値となっています。将来的に更新需要は確実に到来するため、更新計画の前倒し・平準化を組み合わせ、財源確保と併せて計画的に対応します。
 ② 管渠の老朽化は顕在化していませんが、供用年数に応じた機能診断を継続し、重点区間の抽出と予防保全を進めます。
 ③ 管渠改善の実績は直近で見られないため、故障履歴・点検記録・重要度による優先順位付けを明確化し、小規模でも着実な更新を積み上げます。処理施設では耐用年数超の機器類が存在するため、計画的更新を原則としつつ、突発修繕の抑制とライフサイクルコストの最小化を図ります。

全体総括

【使用料水準の適正化】
 本事業は、単年度収支の安定により、一定の健全性を維持しています。今後は、短期資金の厚み確保、需要に応じた運転の最適化、費用構造の点検を通じて、使用料収入と支出の均衡をより確かなものにしていきます。
 債務水準は抑制されている一方、老朽化への対応は今後必要不可欠であることから、機能診断に基づく更新の優先度付け、平準化、調達・工事の効率化を組み合わせ、財政負担の変動を小さくします。継続状況の高さという強みを活かし、地域の生活基盤としての役割を確実に果たすため、計画的な資産更新と経営の持続可能性の両立を着実に進めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。